

輸出事業計画

※申請者名：いわて加工食品輸出促進研究会

品目：酒類、菓子、麺類、調味料（味噌・醤油・その他）、発酵食品、飲料、
コメ・コメ加工品、水産加工品、牛肉、牛肉加工品、大豆加工品、乳製品

1. 輸出における現状と課題

【輸出における現状】

- ・ 岩手県では、広大な県土と多様な気候を生かし、多彩な農林水産物が生産されており、これらの食材を原料とした味噌・醤油をはじめとする発酵食品や、麺類、菓子類、日本酒、ワインなど地域の文化や背景に根ざした多種多様な加工食品が、伝統的な製法等により生産されている。
- ・ 岩手県県南地域の奥州市は、アメリカメジャーリーグの大谷翔平選手の出身地であり、また、岩手県盛岡市がニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に選ばれるなど「いわて(岩手)」の知名度が世界的に高まっている。
- ・ 岩手県内の加工食品を輸出することは、県産加工食品の魅力を世界中の人に届けると同時に、国内市場の縮小や後継者不足、国産農林水産物の需要拡大等の課題解決の手段となると考える。
- ・ 海外マーケットにおける岩手県産加工食品の認知度向上と販売機会創出を図るため、いわて加工食品輸出促進研究会を設立するに至った。
- ・ 本研究会では、海外展示会及び輸出向け国内展示会への共同出展や輸出に関するスキルアップのための研修会の開催等を予定している。

【輸出における課題】

(1) 各国共通

【物流】

- ・ 間接輸出を行っている会員企業が多く、物流コストが大きい。
- ・ 現地インポーター、ディストリビューターを見つけられていないケースがある。

【販売】

- ・ 大谷選手のように絶大なブランドはあるものの、十分生かせていない。
- ・ 製品アピールポイントの整理や海外バイヤー向けPR資料作成が進んでいない。

(2) 香港

【販売】

- ・ 規制が少ない利点を生かし、マーケットニーズに応じた商品の選定を進め、現地の商社やバイヤーとのつながりの構築と連携の強化により、商流づくりを進める必要がある。

(3) ベトナム

【販売】

- ・ 過去に実施したテストマーケティングの結果を活用し、現地でニーズのある商品のしぼり込みを行うとともに、現地バイヤーとの連携の取組を強化し、輸出品目を増加させる必要がある。

(4) 米国

【販売】

- ・ FSMAを含む規制対応や認証取得に関する知見不足や、英文での書類作成等の手続き面でのハードルが存在する。
- ・ 過去に実施した現地イベントの結果を参考に、岩手の加工食品にとって成約につながる効果的な市場での展示やプロモーションを現地で実施する必要がある。

輸出事業計画

※申請者名：いわて加工食品輸出促進研究会

品目：酒類、菓子、麺類、調味料（味噌・醤油・その他）、発酵食品、飲料、
コメ・コメ加工品、水産加工品、牛肉、牛肉加工品、大豆加工品、乳製品

2. 輸出事業計画の取組内容

【輸出における課題を解決するための取組内容】

(1) 各国共通

【物流】

- ・ 対象国に応じて事業者ごとに最適な物流ルートを検討し、物流コスト削減に取り組む。
- ・ GFP、ジェトロ岩手等と情報交換を行う他、研究会会員がすでに構築している人脈も活用しながら、信頼できる現地インポーター、ディストリビューターを見つけ、効率的な物流体制構築に向けて検討を進める。

【販売】

- ・ 大谷選手の出身地である奥州市に拠点を置く研究会会員の連携による輸出仕様の商品開発を進めるとともに、海外及び国内の展示商談会に共同出展し、プロモーションを行う。
- ・ 現地で流通している同業他社の商品を調査し、既存流通商品との差別化を意識して商品の磨き上げを行い、海外バイヤー等にわかりやすく商品紹介するためのパンフレットやリーフレットの作成等を行う。

(2) 香港

【販売】

- ・ 支援機関の協力のもと、マーケットのニーズに応じた商品選定を進めるとともに、現地で開催される展示会に共同出展し、現地商社等との関係構築及び商流づくりを行う。

(3) ベトナム

【販売】

- ・ これまでに実施したテストマーケティングの結果と、ベトナム現地のコンサルティング会社及び支援機関の協力のもと、ベトナム国内で販売が継続できそうな加工食品を選定し、新規の商品登録を進めるとともに、現地でテスト販売を行う。

(4) 米国

【販売】

- ・ 支援機関の協力と、米国への輸出にすでに取り組んでいる研究会会員のアドバイスなどにより、規制対応や認証取得に向けた取組みを進める。
- ・ 米国輸出に関する知見を有する商社等のアドバイスにより、マーケットのニーズに応じて商品のしぼり込みを行い、現地で開催される展示会やイベントに参加し、新規の販路開拓を促進させる。

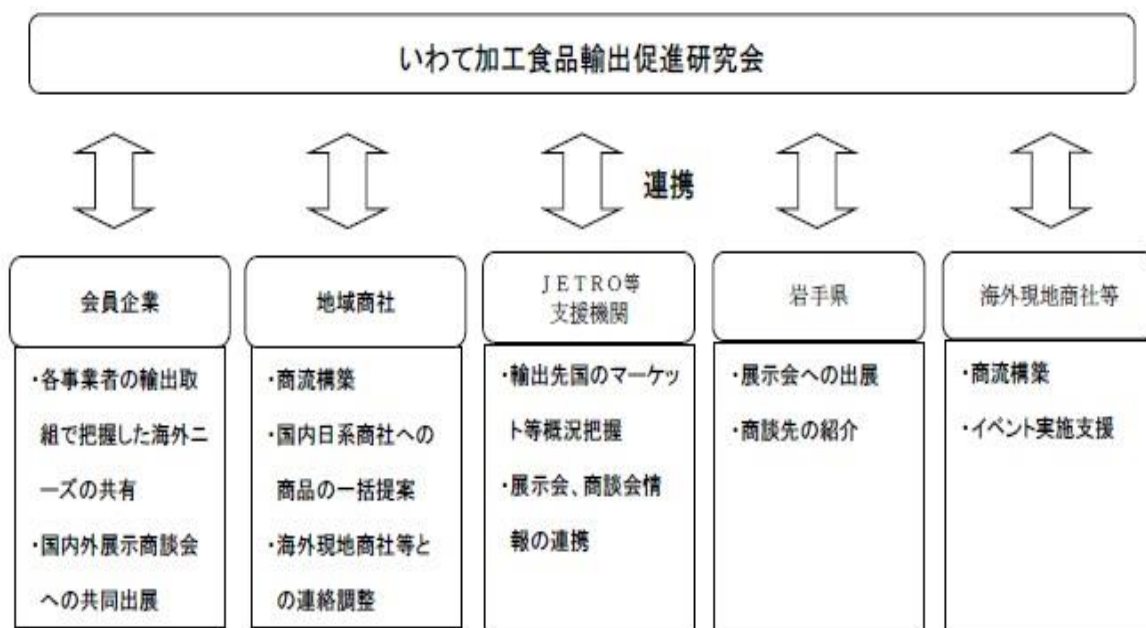
輸出事業計画

※申請者名：いわて加工食品輸出促進研究会

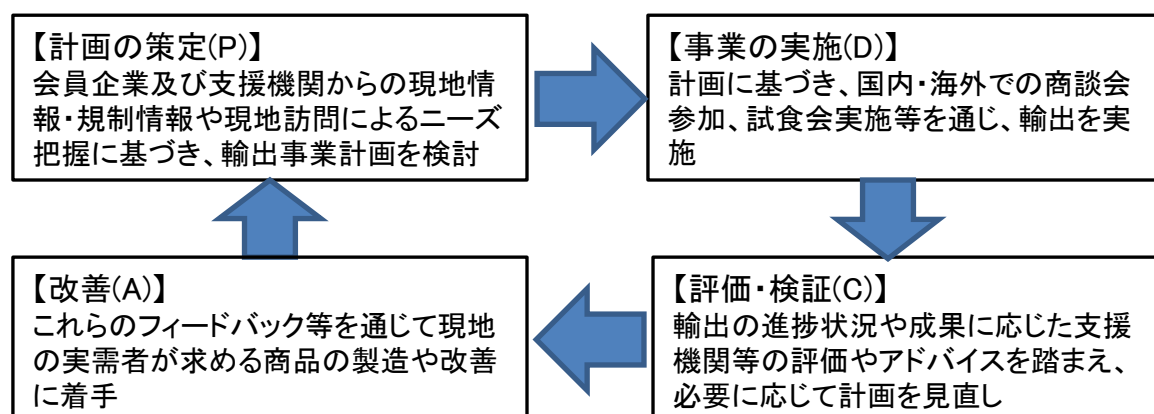
品目：酒類、菓子、麺類、調味料（味噌・醤油・その他）、発酵食品、飲料、
コメ・コメ加工品、水産加工品、牛肉、牛肉加工品、大豆加工品、乳製品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【PDCA実施体制】



【PDCAサイクル】



輸出事業計画

※申請者名：いわて加工食品輸出促進研究会

品目：酒類、菓子、麺類、調味料（味噌・醤油・その他）、発酵食品、飲料、
コメ・コメ加工品、水産加工品、牛肉、牛肉加工品、大豆加工品、乳製品

4. 輸出目標額

(全体)

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	36,224 千円	109,162 千円	
	輸出量	—	—	
	輸出先国	米国、中国、台湾、 香港、ベトナム、 マレーシア、 シンガポール、 オーストラリア、 英国	米国、中国、台湾、 香港、タイ、 ベトナム、 マレーシア、 シンガポール、 オーストラリア、 英国、フランス	
	生産量	—	—	

(輸出品目：酒類（日本酒、ワイン、リキュール）)

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	7,284 千円	44,000 千円	
	輸出量	500 L	30,000 L	
	輸出先国	米国、中国、台湾、 香港、シンガポール、 オーストラリア、 英国	米国、中国、台湾、 香港、タイ、ベトナム、 シンガポール、 オーストラリア、 英国	
	生産量	309,000 L	350,000 L	

(輸出品目：菓子)

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	5,570 千円	18,460 千円	
	輸出量	3,460 kg	16,220 kg	
	輸出先国	米国、香港、台湾、 シンガポール	米国、香港、台湾、 シンガポール、 フランス	
	生産量	1,182,000 kg	1,192,000 kg	

(輸出品目：麺類)

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	2,040 千円	7,918 千円	
	輸出量	2,147 kg	6,950 kg	
	輸出先国	米国、中国、台湾	米国、中国、 台湾、香港	
	生産量	481,672 kg	551,200 kg	

輸出事業計画

※申請者名：いわて加工食品輸出促進研究会

品目：酒類、菓子、麺類、調味料（味噌・醤油・その他）、発酵食品、飲料、
コメ・コメ加工品、水産加工品、牛肉、牛肉加工品、大豆加工品、乳製品

（輸出品目：調味料（味噌））

		現 状 (令和 5 年度)	目標年 (令和 9 年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	0 千円	3,000 千円	
	輸出量	0 kg	1,500 kg	
	輸出先国	なし	米国、中国、 台湾、香港	
	生産量	500,000 kg	500,000 kg	

（輸出品目：調味料（醤油））

		現 状 (令和 5 年度)	目標年 (令和 9 年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	1,600 千円	4,400 千円	
	輸出量	1,600 L	2,955 L	
	輸出先国	米国、中国、台湾	米国、中国、 台湾、香港	
	生産量	200,000 L	200,000 L	

（輸出品目：調味料（味噌・醤油除く）、発酵食品）

		現 状 (令和 3 年度)	目標年 (令和 9 年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	2,278 千円	7,568 千円	
	輸出量	2,145 kg	5,237 kg	
	輸出先国	米国、中国、台湾	米国、中国、香港、 ベトナム、台湾	
	生産量	504,000 kg	506,000 kg	

（輸出品目：飲料（野菜・果実等を原料とする））

		現 状 (令和 5 年度)	目標年 (令和 9 年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	0 千円	80 千円	
	輸出量	0 L	24 L	
	輸出先国	なし	米国、 香港	令和 4 年 度は香港 に輸出実 績あり
	生産量	2,631 L	2,893 L	

（輸出品目：コメ・コメ加工品）

		現 状 (令和 5 年度)	目標年 (令和 9 年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	33 千円	4,300 千円	
	輸出量	100 kg	12,900 kg	
	輸出先国	台湾	香港、台湾、 ベトナム、	
	生産量	1,018,000 kg	1,527,000 kg	

輸出事業計画

※申請者名：いわて加工食品輸出促進研究会

品目：酒類、菓子、麺類、調味料（味噌・醤油・その他）、発酵食品、飲料、
コメ・コメ加工品、水産加工品、牛肉、牛肉加工品、大豆加工品、乳製品

（輸出品目：水産加工品（海藻））

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	1,050 千円	2,420 千円	
	輸出量	500 kg	1,210 kg	
	輸出先国	シンガポール	米国、香港、マレー シア、シンガポー ル、オーストラリア	
	生産量	300,000 kg	500,000 kg	

（輸出品目：牛肉、牛肉加工品）

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	14,950 千円	15,450 千円	
	輸出量	2,183 kg	2,250 kg	
	輸出先国	米国、台湾	米国、台湾	
	生産量	2,183 kg	2,250 kg	

（輸出品目：大豆加工品）

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	1,108 千円	1,252 千円	
	輸出量	130 kg	229 kg	
	輸出先国	米国	米国	
	生産量	895 kg	954 kg	

（輸出品目：乳製品（チーズ））

		現 状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)	備 考
岩手県 (いわて加工食 品輸出促進研究 会)	輸出額	311 千円	314 千円	
	輸出量	86 kg	90 kg	
	輸出先国	米国	米国	
	生産量	87,550 kg	87,550 kg	